



【令和 8 年度 前期学校評価結果について】

(保護者アンケート 7 月実施回答率 42.3%)

児童数: 281

回収数: 119

回収率: 42.3%

令和8年度前期学校評価		回答数					百分率					回答数計
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
1	学校の教育方針（めざす児童像「よく考え、学ぶ子、思いやりをもち、助け合う子、明るく元気な子」）を知っている。	114			5		95.8%			4.2%		119
2	学校は、特色ある取組を行っている。（安心安全で信頼される学校・学び合い、知徳体を高め合う学校・生きがいをつむ学校）	107			12		89.9%			10.1%		119
3	本校が松木中（小）学校と合同で行う取組（小中一貫教育の日、三校合同あいさつ運動、運動会のボランティア）について知っている。	114			5		95.8%			4.2%		119
4	学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	94	20	1	0	4	79.0%	16.8%	0.8%	0.0%	3.4%	119
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。（いのちの大切さを共に考える日の取組、SOSの出し方の取組、ふれあい月間の取組 等）	82	31	0	0	6	68.9%	26.1%	0.0%	0.0%	5.0%	119
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。（6月のふれあい月間、児童へのいじめに関するアンケートの実施、10月のふれあい月間および集会等）	78	31	2	0	7	65.5%	26.1%	1.7%	0.0%	5.9%	119
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	86	25	4	0	4	72.3%	21.0%	3.4%	0.0%	3.4%	119
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	72	38	2	0	7	60.5%	31.9%	1.7%	0.0%	5.9%	119
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	79	26	3	0	10	66.4%	21.8%	2.5%	0.0%	8.4%	119
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	84	26	2	1	6	70.6%	21.8%	1.7%	0.8%	5.0%	119
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	82	23	3	1	9	68.9%	19.3%	2.5%	0.8%	7.6%	119
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	75	35	2	1	6	63.0%	29.4%	1.7%	0.8%	5.0%	119
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページ等で適切に情報を提供している。	85	30	2	2	0	71.4%	25.2%	1.7%	1.7%	0.0%	119
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	77	26	5	0	11	64.7%	21.8%	4.2%	0.0%	9.2%	119

※ 1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない 5 分からない

（1）アンケート全体に関わることについて

今年度の前期学校評価につきまして、42.3%の皆様からご回答いただきました。お忙しい中、誠にありがとうございました。

全体的な結果としては、ほぼ全ての項目で「1 あてはまる」または「2 ややあてはまる」の肯定的評価をいただきましてありがとうございます。この結果、及びいただいたご意見を学校全体で共有し、今後の教育活動がさらに充実するよう努めてまいりたいと存じます。

続きまして、肯定的な回答が特に高かった設問と比較的低かった設問について、述べさせていただきます。

(2) 肯定的な回答が特に高かった設問について

① 設問4「学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。」について

設問4の肯定的回答は95.8%となり、昨年度同様に高い評価をいただきました。地震や火災などの非常時に落ち着いて行動できるよう、日常的に実践的な訓練を積み重ねております。特に近年は、自然災害の発生や急な天候悪化など、様々な状況を想定した適切な行動が求められています。指示に従った避難にとどまらず、さまざまな状況に応じて自ら危険を予測し、主体的に命を守る判断ができる力を養うとともに、さらなる安全意識の向上を目指してまいります。

② 設問5「学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。」

設問5の肯定的回答は95.0%となり、特に否定的回答が0%であったことは、本校で進めてまいりました道徳教育や人権教育の方向性をあたたかく支えていただいたものと、ありがたく受け止めております。先日の道徳授業公開講座には多くの保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。今後も教育活動全体を通して、自己肯定感や他者への思いやりの心を育む体験的な活動を充実させ、自分も他者も大切にできる児童の育成に努めてまいります。

③ 設問13「学校は、保護者に対して、学校便りやホームページ等で適切に情報を提供している。」について

設問13の肯定的回答は96.6%となり、今年度も高評価をいただきました。保護者の皆様へ学校の様子や教育方針をお伝えできるよう、学校便りやホームページ等を通じた情報発信に努めております。自由意見等でいただいた「ホームページの掲載頻度や見やすさ」に関する貴重なご意見・ご要望につきましても真摯に受け止め、日々の学校生活の中で見られる子どもたちの多様な姿をより丁寧にお届けできるよう、掲載の工夫を重ねています。今後もタイムリーで分かりやすい情報提供を心がけてまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(3) 肯定的な回答が比較的低かった設問について

① 設問2「学校は、特色ある取組を行っている。」について

設問2におきましては、肯定的回答が89.9%となる一方、そうでない回答も10.1%という結果となりました。昨年度の数値と比較いたしますと上昇傾向が見られ、「安心安全で信頼される学校」「学び合い、知徳体を高め合う学校」「生きがいをもつ学校」を目指す本校の特色ある取組みについて、少しずつではありますがご理解が得られてきていると考えております。一方で、この取組みの内容につきましては、まだ十分にお伝えしきれていない面があると真摯に受け止めております。

本校では、目指す学校像の実現に向け、まずは「安心して過ごせる」基盤として、アンケートや面談の実施とともに「長池タイム」等で子どもと担任が丁寧にかかわる時間を確保し、日頃からきめ細かな観察や合理的配慮に努めています。また、「仲間と力を合わせる」実体験として、たてわり班活動やグループ学習を通して「自分は必要な存在だ」と感じられる場面を大切にしています。さらに、成長の実感に向けては、「分かった！できた！」を感じられる授業づくりと「はちおうじっ子キャリア・パスポート」の活用により、主体的に取り組む力を育てています。

いただきました貴重なご意見をもとに、今後もこれらの取り組みを一層充実させるとともに、日頃のお子様方の生き生きとした様子や教育活動の内容をより分かりやすく発信してまいります。保護者・地域の皆様と教職員が手を取り合い、すべての皆様に「長池小学校に通わせて良かった」と実感していただける学校づくりに尽力してまいります。

② 設問 14「学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」について

本設問は肯定的回答が 86.6%と多くのご理解をいただいておりますが、昨年度に続き横ばい傾向にあり、本校の重要課題の一つと捉えております。

文部科学省の調査では通常の学級の 8.8%の児童に特別な支援が必要とされ、東京都でも「共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育」を推進しています。本校でも、特別な支援は一部の子どもだけでなく「すべての子どもの不安や課題に寄り添うもの」と位置付け、専門性を高める教員研修を重ねています。

日頃から保護者の皆様との対話を大切にし、お子様の状況に応じたきめ細かな支援を行うとともに、スクールカウンセラーや巡回心理士等、専門機関との連携体制を整えております。今後も「一人ひとりの可能性を広げる教育活動」に努め、その具体的な取り組みを丁寧にお伝えしてまいります。

今後とも、子どもたちのより良い成長のために、各項目でいただいた評価を参考に、様々な教育活動について改善を図ってまいります。

（４）自由意見より全体に関わることへの回答 ★ご意見等 ○学校からの回答

★水泳指導について（水着の指定・着用について）

「プールの授業が年間数回程度のため、毎年サイズアウトによる買い替えの負担が大きいです。最低限の露出を避けるなどの基準を設けた上で、水着の指定をなくしたり自由（スイミングスクールの水着など）にしたりしていただけると助かります」といったご意見をいただきました。

- 本校におきましては、児童の安全確保や指導上の観点から水着をご案内してまいりましたが、使用回数やご家庭での費用負担に関する貴重なご意見として受け止めております。ご意見を踏まえ、本校におきましては来年度の水着に関する保護者通知より「スイミングスクール等で使用している水着でも可」とする旨を記載いたします。（※露出を抑え、また安全な形状などの着用基準につきましては通知内にてご案内いたします。）

前期学校評価等を通じ、保護者の皆様から心温まる感謝や励ましのお声を多数いただきました。

・子どもの特性や小さな変化に寄り添い、集団の中で「自分は自分であっていい」と思える教育を行うことや、トラブルや不安の際も担任やスクールカウンセラー、つばさ学級などが連携して迅速に対応することで、子ども一人ひとりに寄り添う教育と安心感につながっていると温かいお声をいただいております。

ます。

・たてわり班や放課後サッカーなどで 6 年生が下級生に優しく接する姿が素敵な憧れの存在になっていることや、小中連携や地域・保護者が一体となった取り組みが子どもたちに良い影響を与えていることなど、「縦の関わり」と「小中連携」がつくる豊かな学びへの感謝も寄せられました。

・「先生方が無理をしすぎないように、保護者としてもできる限り協力していきたい」という、教職員への温かいお心遣いにご協力のお言葉も頂戴いたしました。

いただいたお声を励みに、今後も学校・ご家庭・地域が手を取り合い、子どもたちが安全・安心に輝ける学校づくりに全力で取り組んでまいります。このような温かいコメントは、私たち学校現場にとってたいへん嬉しく、励みとなります。本当にありがとうございます。

また、個別の内容につきましては、別途個別に連絡させていただきました。授業についてのご意見等につきましては、教員と共有し、今後の教育活動に生かしてまいります。

次回の学校評価は 11 月に行います。令和 8 年度の最終的な学校評価となりますので、ぜひ多くの皆様にご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

～お知らせ～

◆学校だよりのリニューアルについて◆

10 月より学校からの情報発信のさらなる充実を図り、より見やすい形で情報をお届けすることを目指して、これまでの「学年だより」の内容を「学校だより」へ統合・リニューアルいたします。

これに伴い、今後は各学年の「学年だより」を配信することはなくなりますが、学校だよりへ集約した内容でお届けしてまいります。

お子さんの学年の学習や生活はもちろんのこと、他学年の様子や学校独自の特色ある教育活動についても知っていただける内容となります。学校全体の予定や様子を把握していただくきっかけになれば幸いです。

今後の運用につきまして次の点をご確認くださいようお願いいたします。

① 行事カレンダーについて

行事や毎月のスケジュールにつきましては、学校だよりに掲載するカレンダーにて確実にご確認ください。

② 学習予定について

今年度は引き続き「学校だより」内に「各学年の学習予定」を掲載いたします。なお、来年度（令和 9 年 4 月）からは年間の学習予定をまとめて一括配布する運用に変更いたしますので、来年度以降はそちらをご参照いただく形となります。

保護者の皆様にとってより分かりやすい情報発信に努めてまいります。今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。